

バーモントカップ第25回全日本少年 フットサル大会栃木県大会要項

- 1 目的 本大会はフットサル競技を通して心身を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強く創造力豊かな人間の育成を目的とする。
- 2 主催 (公財)日本サッカー協会
- 3 後援 栃木県教育委員会(申請予定) 栃木県市町サッカー協会(申請予定)
- 4 主管 (公社)栃木県サッカー協会 栃木県少年サッカー連盟 栃木県フットサル委員会
- 5 特別協賛 ハウス食品株式会社、モルテン株式会社
- 6 日程<期日> 平成27年6月13日(土)・14日(日)
<会場> 日光市清滝体育館 那須町スポーツセンター 塩原B&G海洋センター
宇都宮市スケートセンター 高根沢町麒麟体育館 宇都宮市清原体育館
- 7 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。選手は同一地区内のサッカーチーム登録選手のみで構成されていること。また、チームの指導者の中に県少年サッカー連盟関係者(登録チーム役員や地区・県連盟委員など)が1名以上登録されていること。
 - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - ④ サッカーチーム登録をしていないチーム(団体)においては「フットサル4種」でチーム登録をすることで大会参加を認める。ただし、必ず地区大会から出場し、その地区に大会運営負担金として50,000円納付すること。
 - ⑤ 帯同審判員は5名以内で、日本サッカー協会公認のフットサル審判員の資格を有するもの。但し、チームの帯同審判で必ず1名は、本連盟主催の審判研修(5/10監督会議同日)を受講すること。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2003年4月2日以降に生まれた選手であること。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - ④ 帯同審判員は5名以内で、日本サッカー協会公認のフットサル審判員の資格を有するもの。但し、チームの帯同審判で必ず1名は、本連盟主催の審判研修(5/10監督会議同日)を受講すること。
 - (3) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4) チーム役員(代表者を除く)、選手は、複数チームから大会に出場することはできない。
 - (5) 移籍選手は、正規の手続きで地区予選第1日目の3週間前までに移籍の承認を受けた者。
- 8 参加チーム 各地区の予選を勝ち抜いたチーム(計48チーム)
北那須地区(5) 南那須塩谷地区(10) 宇河地区(9)
上都賀地区(5) 芳賀地区(6) 下都賀地区(6) 両毛地区(7)
- 9 大会形式
 - (1) リーグ戦・決勝戦
 - ① 1日目: 48チームを8チームずつ6つのブロックに分け、さらに4チームずつ2つのリーグに分けてリーグ戦を行い、各ブロック1位の6チーム準決勝リーグへ進出する。
 - ② 2日目: 各ブロック1位の6チームを3チームずつの2リーグに分け、準決勝リーグを行い、各リーグの1位同士で決勝戦を行う。

※リーグ戦の順位は次の方法によって決定する。
①勝ち点(勝3分1負0) ②当該チームの勝敗 ③得失点差 ④総得点 ⑤抽選

 - (2) 各地区の優勝チームをシードする。
 - (3) 同一地区は同じリーグに入らない。
- 10 競技規則 大会実施年度日本サッカー協会制定のフットサル競技規則による。
- 11 競技会規定 以下の項目については競技会規定に定める。
 - (1) ピッチ
 - ・大きさ: 原則として、長方形で32m×16m
 - ・ペナルティーエリア: ゴールポストから半径5mの1/4円弧とゴールラインに平行な線
 - ・センターサークル: 半径2.5m ・ペナルティーマーク: 5m
 - ・第2ペナルティーマーク: 8m
 - ・守備側競技者のボール等から離れる距離: フリーキック、コーナーキック、キックインの時、相手選手は4m離れる。
 - (2) 使用球 フットサル3号ボール(公認球: 大会本部で準備)

- (3) 競技者の数 ベンチ入りできる選手：参加申込書に記載の最大20名のうち、メンバー票に記載された10名以内の選手とする。
 競技者の数：5名 交代要員の数：5名 自由に交代できる。
 ピッチ上でプレーできる外国人選手の数：2名以内
- (4) チーム役員の数 代表者1名・監督1名・コーチ2名以内とする。
- (5) 競技者の用具
- ①ユニフォーム：
 (ア) 試合当日にユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に、副として正と異なる色のユニフォームを有すること。
 (イ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用する。
- ②靴：靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズとする。スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。または靴底が紺色か白のゴム底の体育館用シューズとする。
- ③ピブス：交代要員は競技者と異なる色のピブスを着用しなければならない。
- (6) 試合時間
- ①1日目 ・4チームリーグ：20分間(前・後半10分間)インターバル3分
 ランニングタイムとする。
 ・ブロック代表決定戦：20分間(前・後半10分間)インターバル3分
 ランニングタイムとする。
 同点の場合はPK方式により次戦への進出チームを決める。
- ②2日目 ・準決勝リーグ：16分間(前後半各8分間)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。(前半終了から後半開始まで)
 ・決勝戦：20分間(前後半各10分間)のプレイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。(前半終了から後半開始まで)
 同点の場合はPK方式により勝利チームを決める。
- (7) 懲罰：
 ①反則により警告の累積が2回及び退場した選手は、次の1試合を出場停止とする。
 ②退席処分になった監督・コーチは次の1試合ベンチ入りできない。
- (8) その他：ランニングタイムの試合においては、タイムアウトは採用しない

1.2 参加申込 平成27年4月29日(日)各地区理事まで

1.3 参加料 15,000円(プログラム代を含む)

1.4 表彰 優勝・準優勝・第3位(2チーム)・敢闘賞(2チーム)の計6チームに表彰状・トロフィー(またはカップ)を授与する。また、1チームにフェアプレー賞を授与する。
 なお、優勝チームは全国大会への出場権を得る。

1.5 監督者会議・審判研修

(1) 期 日 平成27年5月10日(月)

(2) 会 場 監督会議：芳賀町農業者トレーニングセンター
 審判研修：芳賀町体育館

(3) 日程と内容 ① 受付 9:40~10:00
 ② 会議・研修 10:00~11:30

・要項確認 ・ルール確認 ・組み合わせ抽選 ・事務連絡 ・審判研修他

1.6 傷害補償

- (1) 大会に参加する選手は、スポーツ安全保険に必ず加入していること。
 (2) 大会における選手の傷害等の補償は、スポーツ安全保険の範囲内のみでないものとする。

1.7 その他

(1) 参加申込書の作成の留意事項。

① 参加選手の氏名、登録番号、所属チームを正しく記入する。

② ユニフォームは参加申込書に記入したものを使用する。参加申込書がない。

③ 監督・コーチ・審判や選手に未記入や誤記のあった場合は、該当者のベンチ入りや出場を認めない。

(2) 大会当日、監督証または仮監督証、選手証を必ず持参すること。電子選手証も認める。

(3) 以下に該当するチームは不戦敗(0-7の没収試合)とする。

・色の異なる正副2着のユニフォームを用意できない場合

・試合開始時刻に10分以上遅れた場合

・当日の監督会議に監督が無断で遅刻・欠席した場合

(4) 大会当日第1試合開始40分前に、会場で監督・審判打ち合わせを行う。

(5) 会場内施設の物損事故があった場合は、関係チームのスポーツ安全保険で修理する。

(6) D級以上のライセンスを取得している監督及びコーチのみ、ベンチ入りを認める。但し、代表者はこの限りではない。(D級ライセンス取得者は、D級コーチリフレッシュ研修会を受講していること)

(7) その他、「連盟規律委員会規定」を遵守すること。

*チームの帯同審判員の中から、1名必ずこの審判研修会を受講すること。

大会事務局
 連絡先

栃木県少年サッカー連盟フットサル委員会
 委員長 柳原 守

〒321-0974 宇都宮市竹林町161-8

電話・FAX 028-643-7560

携 帯 090-4924-4828